



去年6、7月には何年も前に子供達と植えた水仙が増えたので、球根を株分けし、植え替えました。それらが12月から咲き始め、3種類が次々に4月まで咲いてくれました。

9月には道路・歩道に大きくはみ出ている桜の大枝を市がバッサリ伐採しましたが、今年も桜はきれいに咲いてくれました。花の咲いた後は落ちた花柄の清掃が必要です。また、秋には落ち葉の清掃が日々欠かせません。

12月には寄付されたチューリップの球根を植え、これもわずかですが目を楽しませてくれました。3月には水仙の花柄を取り、彼岸花の球根をつつじの生垣寄りに植えました。

道路脇のつつじも市の剪定が6月下旬と早かったため今年は結構咲いてくれました。

5月末にはひまわりが咲くように種を植え、6月梅雨時にはミニあじさい緑道になります。

桜の根がはっていて、土の状態も悪い場所ですが、家で増えた球根・草花等が持ち込まれて、また熱心に草取りをしてくれる高齢者もあり、環境美化の緑道になっております。

毎日の通勤時に花を愛(め)で、少しでも心が洗われ場、散歩時に立ち止まり、きれいな花々を眺めている人々を見かけると、皆の協力で緑道を管理してきて良かったと思います。街に花がいつもあることは、子供達の教育上にもいいことですね。

ただ残念なことですが、一部の心無い人により、タバコの吸殻・空缶・ゴミ等が投げ込まれています。人間性を疑ってしまいますね！
ご紹介 新潮文庫 幸田文著「木」P19 藤



避難所開設訓練について 緑ヶ丘地区連合会

緑ヶ丘集会所にての話 平成29年5月13日(土) 市職員より

資料1 避難所開設・運営訓練について

座間市の職員 850名 市内在住 58%。
災害時 市の職員すぐに集まってこられない。
いつになったら、開設できるか分からない。
学校避難所のすべて28カ所

震度6弱 危機管理課 が開設に動く。

046-252-7773

防災備蓄倉庫の中に体育館のカギがあり、座間中担当職員4人の誰かがカギを開ける。避難所開設は、2日から3日後である。

皆さんでマニュアルをつくり→訓練をする
開設 運営 清掃、レイアウト 仮設トイレ。

資料2 避難所運営委員会設置支援事業について

1. (災害) 避難所とは

災害避難所の収容対象者は原則として

① 住宅が被害を受けて居住の場所を失った者



- ② 火災等の発生により速やかに避難しなければならない者
- ③ 災害によって現に被害を受ける恐れのある者
- ④ 地域外から来て、帰宅することが困難である者(旅行者)
- ⑤ その他災害により生活の自立が困難な者(一人で生活)

以上に該当する方を一時的に収容する施設です。(他の人、来る必要はない、鎮火を待って自宅へ戻る)

2. 一般的な認識

過去の災害でも「発生⇨避難所へ行こう」式に避難所へ避難行動を取る例が起きています。災害が起きると無条件に避難所へ避難する方がいらっしゃいます。

発生して、安全を確保するために避難する場合は「一時避難場所」や「広域避難場所(建物外の空間利用)への避難を行います。

避難所は住居等を失った方が生活を送る施設です。

・自宅一部壊 無事 自宅へ戻る 近隣の応援を行う。

避難所の開設支援等、出来ることを手伝う。

・居住地域火災 延焼の危機 避難場所

鎮火を待って自宅へ戻る

・自宅焼失・倒壊・居住不可 ⇒⇒ 避難所

講話 座間市災害ボランティア 濱田政宏氏 資料2

避難所の開設は点検作業があり、チェックリストがあり1つでもだめならダメ、開設できない。

自宅一部壊 無事の人たちは出来るだけ来ないで下さい。

避難所 正常ではいられない。プライバシーない。

避難所担当職員4名、自治会長、担当メンバーは

年1回会合を。 鍵 どうなっている。

トイレ⇒仮設トイレだけになる。室内トイレつまるとどうしようもない。床を汚れた足で歩いてしまう。

壁ぎはをあげて、通路をつくるレイアウトをする。

行政、学校(長)、地域住民 いろいろな人が運営に入ってくれた方がよい。

ガイドライン、運営委員 避難した人から係を決めてやる。

運営委員 できているところ床きれい。ない所 床汚い。

学校 教育施設なので使用1週間、その後行政が延長する。

福祉避難所 弱い人を収容するところ。

普通のところこないと思っているが、できない。理解を。

通路 壁ぎはは使わせない。夜壁伝いにトイレに行くため。

入口から4メートルはあける。作業場。 ガイドライン。

安全、保険衛生、コミュニティ、余震が来る。

水、食料 入っているものを分ける。人間の心理。

話し合っ、どうするか。 生活場所 トイレに近い人

近い所へ。隣に誰が来るか分からない。

スペース 1人 1m×2m 荷物を含めて。窮屈である。

女性目線。 男性 上着脱ぐ。上半身裸。

更衣室、授乳スペース、おむつの交換スペース。

赤ちゃん 泣くのが仕事。

認知症。冬場 インフルエンザはやる。予備スペースを。

一般教室はなかなか貸してくれない。 理科室とかを。

ごみの集積、学校内は禁煙(喫煙者は苦勞する)

物干しスペース 見えないようにして欲しい。下着等。

ペット 連れてこれるが、部屋の中には入れられない。

エサはない、糞尿の処理は飼主がする。

熊本 ロングコンテナ3つに繋ぐ。

運営委員 外からサポートも。

標準マニュアルは出来ている。セミナーを用意している。



緑ヶ丘だより



発行 平成29年7月

座間市緑ヶ丘地区自治会連合会

「今年の自治会活動の取り組み」

227世帯

緑ヶ丘南自治会 会長 小野忠信

緑ヶ丘南自治会会長の小野でございます。今年一年宜しくお願い致します。

さて、緑ヶ丘南自治会でもここ数年自治会の会員数の減少が問題化しております。そのための対策に苦慮しておりますが対策の一つとして、現在、副会長を中心として各戸配付用のPRチラシの準備を進めています。

内容は発災時に頼りになる共助のための自治会を強調し、長年努力し積み上げ、やっと充実してきた防災倉庫の備蓄資材の内容をお知らせして、安心・安全の地域づくりに自治会が総力を挙げて取り組んでいる事や、市民レクレーションなどのイベント、防犯パトロールや防災訓練のPR、日頃の資源ごみ回収などの活動も紹介する予定です。また、行事を行うごとに内容を写真入りで紹介し、地域の方にPRして参ります。役員全員で知恵と工夫を凝らして、明るく楽しい自治会活動を展開していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。またこの度、緑ヶ丘地区自治会連合会の会長に就かせて頂くことになりました。こちらでも宜しくお願い致します。

さて緑ヶ丘地区自治会連合会としましては、来る平成29年11月12日(日曜日)に、座間中学校をお借りして、「避難所設置訓練」を開催する準備を進めさせて頂いております。緑ヶ丘地区自治会連合会としては初めての試みとなりますので、暗中模索状態でございますが、座間市役所危機管理課・座間市災害ボランティア様などのご協力を頂きながら、各自治会から選出された防災担当者の方々を中心に現在企画しております。

皆で力を合わせて「防災・減災」に取組み、いざという時の備えを行いたいと思っております。

皆様におかれましても当日ご参加の上、ご協力の程宜しくお願い致します。

また、例年のことではございますが、同じく座間中学校運動場において、市民レクレーション緑ヶ丘地区大会(10月1日(日))の準備も、市民レクレーション実行委員会のメンバーによって進めさせて頂いております。

例年より開催時間を短縮した企画とし、緑ヶ丘地区の皆様楽しんで頂ける大会を実施したいと思います。

防災・防犯・レクレーションなどによって、安心・安全で住み良い緑ヶ丘地区を構築して参りますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



「避難行動要支援者支援制度」

地区自連専任理事 森 繁

座間市福祉部と座間市自治会総連合会との間で長らく協議しておりました「避難行動要支援者支援制度」について協議がまとまり普及啓発の段階に来ました。この制度は災害弱者への支援が目的となっております。被支援者が制度に登録申し込みした場合、その名簿を市より各自治会が預かり、自治会組織で日常の見守りと災害時の支援を致します。自治会によってどのようにサポートしたらよいか工夫する必要があります。まず支援を受ける側の不安(個人情報の開示等)を軽減すること。見守る側の負担の軽減。両者のバランスをどうとるか。支援を受ける側も多少のリスクを覚悟して頂き、支援する側とのコミュニケーションを築く事が大切と考えます。

高齢化・孤立して行く中で地域の助け合うネットワークが必要なことは皆が分かっており、一歩踏み出せないでいるのが現状と思っております。十年、二十年先の自分を考えた時この制度の世話になるかもしれません。

是非この制度を理解して頂きサポートのご協力をお願い致します。

申込先 福祉部福祉長寿課・障がい福祉課
電話：046-252-7978

申請できる方 一人暮らし高齢者、高齢者世帯(世帯全員が65歳以上)、障がい者等で地域の支援希望する方



第一住宅相武台団地自治会 会長 岡本英光

座間の何が素晴らしいかという、先ず素晴らしい数々の”公園”の存在があります。市立公園も、かみが沢公園、芹沢公園、富士山公園と大きなところで3つあり、また遊水地は公園化されそこも運動公園として機能しています。それは山坂が多くその中の湿地帯だったところを公園にしたという、星野前市長の逆転の発想的な都市行政の成果であったと思われまふ。その他に市の中心地に、県立の座間谷戸山公園という大規模な自然公園が存在しています。

座間市は高低差のあるところですから斜面地帯が多く、日当たりの良さそうな緩斜面には瀟洒(しょうしゃ)な住宅が建っており、ヨーロッパの何処かを思わせるような景色にも遭遇できます。斜面には樹木の繁茂する緑の多い自然景観が残されており、それを見るたびに心が和みます。樹木のない草地斜面の整備ぶりには、感謝の気持ちを持たせまふ。

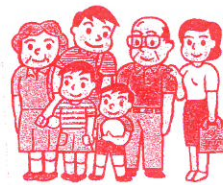
関東平野の一角にこのような公園都市が存在することは誇らしく、キャンプ座間の米国人に見せても恥ずかしくない街になったと思ひまふ。



はイイだろう。次の人が清掃してくれるだろう。と言う考え方は、いつまでもごみ集積所は綺麗になりません。

春から夏にかけては、カラスなど動物の繁殖期です。生ごみやおむつなどを物色しているのをよく見かけまふ。特に、この時期は、外から見えにくいように、破られないように工夫して集積所にごみを出し、必ずネットをかぶせることが大切です。

引き続き、皆様のご協力をお願いします。



「小さな自治会の大きな一歩」

22所帯

わかば自治会 会長 松尾恵子

わかば自治会は22所帯のとても小さな自治会です。そのため、輪番で会長・会計が回ってきます。小さな自治会とはいえ、初めての会長です。夫に相談しても頼りにならず、先行きに不安を覚えました。もちろん、連合会の定例会に出席するのも初めてのことで、恐る恐る顔を出しました。しかし、私の不安はたちまち吹き飛んだのです。他の自治会の会長さん達は、私の心持ちを察したのか、気さくににこやかに声をかけてくださいました。そして、私の要を得ない相談に乗ってくださり、親身に沢山の意見をくださいました。本当にうれしかったです。

新緑が眩しい4月下旬に、わかば自治会では初めてとなる懇親会を行いました。自治会館を持たないため公園にシートを広げての、とても簡素な宴です。しかし、自治会の皆さんに準備を助けていただき、約2時間のとても楽しいひと時を過ごすことができました。そしてみんなで力を合わせれば何だって乗り越えられる。そんな気持ちにさせられました。懇親会の開催は、とても小さな自治会の(実は私にとっての)大きな一歩となりました。

役職名	氏名	所属自治会	会員数
会長	小野 忠信	緑ヶ丘南	222
副会長	岡本 英光	第一住宅相武台団地	171
書記	田野口勝彦	新緑ヶ丘	128
会計	紫尾 一也	さつき	183
代表理事	小野 忠信	緑ヶ丘南	
専任理事	森 繁	緑ヶ丘南	
会計監査	伊藤 雅彦	小田急相武台南	111
会計監査	松尾 恵子	わかば	22
幹事(防災防犯)	渡辺 義隆	緑ヶ丘中央	193
幹事(防災防犯)	東城 良介	相武台緑ヶ丘	97
幹事(広報)	大塚 幸伸	緑ヶ丘六丁目	190
		合計	1,317

小田急相武台南自治会 会長 伊藤雅彦



昨年の春に街並みと相武台前駅までの道のりが気に入り、家族で小田急相武台南自治会内に引越して来まふ。そして今年度役員のお話を頂き、くじ引きにて持ち前の引きの強さを遺憾なく発揮してしまい会長になった訳ですが、自治会の事はもとより会員の方の顔もほとんど知らない状況でのスタートとなりましたが、自治会の活動を通じて各区の役員の方やご近所の方と顔見知りになれることは、とても有意義なことだと感じております。また、昨年まで義務的に感じていた美化デー等が会員の方の良いコミュニケーションの場になればと思ひまふ。

最後に、今は慣れてしまふたのですが、引越して来た当初は、自治会内に街灯(防犯灯)が少ない箇所が有りとても暗く感じておりました。簡単なことではないとは思ひまふが、緑ヶ丘だよりも私が書くことで将来、防犯灯が増え小田急相武台南自治会内の暗い箇所が明るくなるきっかけになってくれればと思ひ書いておりました。



「自治会長になって」 193世帯

緑ヶ丘中央自治会 会長 渡辺義隆

平成29年度緑ヶ丘中央自治会の会長を仰せ付かった渡辺です。自治会活動を自身が行うのは初めて(親が行っているのは傍で見えていたが)の私が会長をいき成り務めるとは思ひまふませんでした。また、会長は、上部組織である座間市緑ヶ丘地区自治会連合会へも参加してより広い地域の方々と連携を図ることをしているのも会長をお引き受けしてから知ったぐらいです。

自治会長になり既に2か月が過ぎ、これまで緑ヶ丘中央自治会の各役員の方々に支えられながら今日まで無事に過ごせたことに感謝いたします。

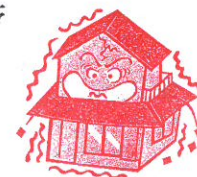
6月には、私の住むマンションで防災訓練を実施しました。

緑ヶ丘地区自連としては座間中学校で避難所開設訓練を行う予定です。

11月12日(日曜日)に。

「備えあれば、憂いなし」と先人の皆様が言っております。できるだけ多くの方々に参加していただき、災害に対する備えになればと思ひまふ。

さつき自治会 会長 紫尾(しび)一也



建物の老朽化に関して、市内全体では数年前から課題として掲げられているテーマですが、築36年となる当自治会集会所においても軒裏に穴が空いている箇所や基礎部分が露出している箇所が発見されるなど、身近な問題として顕在化しています。集会所建築当時の竣工図書や修繕の記録等が(どこかに眠っているかもしれませんが)見つからないため、現在は建物の過去と現在を明らかにする事を目的とした活動を中心としている段階です。

今年の夏は、建築士や行政各方面への相談と調整および建屋の現状を明らかにする調査を実施していき、秋には住民全体の同意を得た上で地域自治振興事業の補助金申請提出に向けた活動を進めていく予定です。

また、現時点で敷地土台や石垣、倉庫にも問題がある事が判明しており、問題解決のためには集会所建屋だけではなく敷地全体を見渡した5年~10年に渡る計画を立てる必要があるかと思ひまふ。

自治会を構成する世帯や世代が変わり続ける中に残り続けるであろう集会所が健全に存続し、快適に利用されることに配慮して役員一同で計画立案していきまふが、この課題は年度をまたぐものであり、数十年後に生じるものでもあるので、その際の行動が円滑にできるよう各種書類等の記録は明確に残しておく点も踏まえておく必要を感じていまふ。



「五月に思う」 98世帯

相武台緑ヶ丘自治会 会長 東城良介

例年、春になると共にレンギョウ、土佐みづきなどの黄色い花に始まり梅、桜、桃などの花々が咲き始める。人々の目を桜に釘付けさせながら、ふと気づくと、目の前の垣根につつじの花が咲き始める。そのつつじが終わりに近づくと、山つつじがオレンジの花で関東平野の山々を埋め尽くす。そしてつつじの最後を飾る絢爛たる、さつきの季節が始まる。

16年前に病気になり嗅覚を無くした私は、病気になる前までは、馥郁(ふくいく)たる梅の花のファンでしたが、今では匂いがなく、鑑賞に嗅覚を要しないさつきの花が気に入っている。その花の色合い、花の形、大きさなどに限りなく変化に富み、びっくりさせられる。緑色の葉の間から顔を出す紅色、紫、朱鷺色そして白の花に思わず見とれてしまふ。とても大切にしたい季節です。

新緑ヶ丘自治会 上田 政史



見知らぬ乗用車がゆっくり止まふた。運転手側のウィンドーが下りた。車の中からレジ袋を持った腕がニュッと出た。そしてごみ集積所をおおっているネットの上にごみが入ったレジ袋をポンと置いた。乗用車は、そのまま走り去った。

乗用車が走り去つたのを見ていたかのようにカラスが来た。クチバシでレジ袋を破つた。火曜日と金曜日の早朝のワンショットです。

地域の居住者は、夫々の清掃当番表に従つてごみ集積所を毎日清掃しています。カラスやスズメはごみを散らかすだけ。他所から持ち込まれるごみは願い下げだが、百歩譲つたとしてもネットをかぶせる程度はやって欲しい。ごみ集積所を清掃する居住者も、ごみを収集する市の職員も、散らかつたごみを集めるのは大変な作業です。

燃えるごみ、燃えないごみ、プラスチック等、どこのご家庭からごみは出まふ。これを集積所に「ポン」と出せば、簡単で手間なしですが、ごみ集積所は地域の居住者が共同で気持ち良く使用する場所です。自分だけ